



さるま^{57/1}

第291号

発行 佐呂間町役場 印刷 井谷印刷株式会社

賀正

自然の恵みを生かし
美しく住みよいまちをつくります。

(佐呂間幼稚園のもちつき)

佐呂間町民憲章

“地場加工産業の開発と 雇用の安定拡大を、”

新年のごあいさつ

佐呂間町長 船木長一郎



明けましておめでとうございます。
町民各位には、ご健勝で新年を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、北海道にとりまして誠に不幸な年で、たび重なる豪雨災害や、北炭夕張炭鉱の歴史的な大惨事に対し、各位とともに心から深くご同情申し上げる次第であります。

幸い本町には大きな災害の発生はないものの農作物の減収、経済の低迷による地場産物の価格の低落、全般的な消費の落ち込み等による商工業の不振で、関係者のご苦労の程をお察し申し上げます。

今日の様な経済状態は、国際経

済の不振や政府の財政事情から推察して、一挙に好転は期待出来ないものと判断しておりますが、政府においても昨年暮れから、景気浮揚対策として公定歩合の引き下げ、国内需要の喚起策を考究中でありますことは、ご案内の通りであります。

佐呂間町は、農林漁業の安定的振興なくして町勢の進展がなく、このため行政を基軸として、関係団体と相互連携を保ち、一層の努力を傾注致す所存であります。

幸い昨年当初より、町民代表の参加をお願いし、本町の将来展望に立つた長期十ヶ年の総合計画の策定審議を進めて参り、その大綱が決定致しましたので、今後、この総合計画を中心として、強力な施策の具現に努める所存であります。

非常に困難な時局下であり、各種の障害も予想されますが、私はむしろ苦境の中でこそ、町民ごぞつて卓越した英智を出し合うことが出来るものと確信しております。また、本年は佐呂間町の重要課題について、将来を見定める大事

な年と心得ております。

先づ、湧網線の永久的な存置については、現今報道されております如く、釧路〜網走〜紋別〜稚内を結ぶオホーツク本線としての整備を要望中であり、将来とも地域の開発と、定住圏を確保すべく現在不通区間である雄武町と北見枝差間の開通について、年内には方向付を明確にすべく運動中であります。

佐呂間湖の養殖漁業経営上障害になっております。オホーツク海からの流水の流入防止と湖口の漂砂除去を、一挙に解決すべく本年度調査設計を終え、明年度から着工の計画を取り進めております。

若佐市街から北見市に通ずる国道のトンネル工事については、既に路線も決定しておりますので、出来得れば明年度から本格的工事に着工すべく運動中であります。が、数十億の工事費を要し政府の財政事情から、或いは一ヶ年位着工が遅れる場合も予想されるところであります。

最後に、本町長期総合計画の中心的課題であります。地場産物の二次、三次加工による付加価値の高揚と雇用の拡大、町内経済活動の拡大による所得の増大等の目的を図るため、年内に具体の計画を樹立致す所存であります。

新年を迎えるに当り所信の一端

を申し述べ町政推進について尚一層のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに町民各位のご健勝とご繁栄を心から祈念致し年頭のご挨拶と致します

賀新年

●町議会

議長 長 惣田 隆次
副議長 田中 喜重

●町役場

町長 船木 長一郎
助役 田中 好一
収入役 岸本 勲

●教育委員会

委員長 杉本 磐
教育長 大島 満

●農業委員会

会長 浅田 一男
会長代理 片岡 清弘

●選挙管理委員会

委員長 尾上 章
委員 長 尾上 章

●監査委員

委員 宮崎 正義
委員 片平 俊男

●遠軽地区消防組合佐呂間支署

支署長 越智 義勝
支署長 田中 喜重

外団員・職員一同

住みよい豊かな郷土をめざして

佐呂間町議会議長 惣田 隆次



町民の皆様、明けましておめでとうございます。

輝かしい五十七年の年頭にあたり、皆様と共に健康で新春を迎えることが出来たことを心からお慶び申し上げる次第でございます。

既にご承知のとおり我が国経済不況は深刻かつ長期化の様相を呈しており、加えて行財政の見直しをはじめとする改革による影響は地方公共団体にも波及し極めて難しい対応が強いられてきておりますとき、昨年は町内各産業とも努力を致しましたけれども喜びの実を結ぶことが出来なかつた年でありまして、基幹産業であります農業では生産量抑制をはじめ、長雨による農作物の被害など、更には地元木材業界にあつても必要の

低滞と価格の不安定などの要因が重なり依然として低迷が続けており、好転の兆もなき様で、それぞれ多額の負債を背負つての苦悩は並々ならぬものがあります。

これを何としても国政による一大転換によつて切り開かれるよう強く望むものであります。

このような状況の中で一年を推移してまいりましたが、各界におかれては不断の努力により厳しい社会情勢に対処して、よくこれを克服されましたことに對し衷心より敬意を表する次第であります。

また当面する大きな問題として引続き湧網線の確保とサロマ湖口漂砂対策或いは地場産業の育成等を図ることは、地域産業に果す役割が大なることを認識し、町民皆さんのご協力ご支援を得ながら町民と一体となつて続けてまいりたいと思つております。

近時の新聞・テレビで報道がなされております行政改革は国の厳しい財政逼迫に伴う措置として種々論じられておりますとき、本町発展のため長期総合計画が審議されておける生活に潤いをもたせる「

豊かな自然と調和した産業と文化の郷」をめざしております。この施策が十分に認識され新たな建設の道をつくるべく、今後における期待と、町民各位のご理解が必要であらうと思ひます。

この厳しい諸情勢に対応し、我が町郷土を更に明るく住みよい豊かな町にするために、私達議会議員一同は、住民サイドに立つてこ

年頭のごあいさつ

佐呂間町教育長 大島 満



町民の皆様、明けましておめでとうございます。

昭和五十七年の新春を皆様と共に、すがすがしい気持ちで迎えることのできますことは、本当に喜びに堪えません。

私は、教育長に就任して始めての新春であり、新しい希望に燃え町民皆様の心を心として、この重責に全力を傾注し、教育の町佐呂

意見ご要望を議会に反映させ、町政推進のため全力を挙げて、与えられた使命達成に最大限の行政効果に努めてまいりたいと存じますので、何分にも一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり町民皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新春のご挨拶といたします。

間の振興に努める覚悟で臨んで参りたいと、決意を新たにしているところであります。

幸いにして教育施設につきましても、校舎を始め屋体の完備は無論のこと、社会体育に関連するプールの整備、テニスコート等他町村に誇る設備の充実を見ましたことは、町理事者の努力もさることながら、町民皆様の教育に対するご理解と、ご協力の賜ものであり心より感謝を申し上げます。

今後、教育施設の整備を要する主なる事業は、青少年会館の建設総合グラウンドの照明施設、視聴覚機器の整備、スキー場の整備、及び将来的には武道館、図書館等の建設が考えられますが、これらは、佐呂間町総合計画の中に取り

入れられていますので、この計画に沿ひ町理事者、町議会及び町民皆様のご理解と、ご協力をいただき、すみやかに取り進めて参りたいと思ひます。

社会教育面では、社会教育委員体育指導委員及び関係諸団体のご協力をいただきながら、住みよい町づくりのため、愛の運動、家族ぐるみのスポーツ活動等を積極的に普及すべく計画をしています。

学校及びPTAその他関係諸団体及び町民より、教育関係について、数多くのご要望が寄せられており、教育に対する関心の深さが窺われます。

今、国では財政再建のための行政改革を、どのように進めるか検討中であり、地方自治体もこの影響を受けることは必至であり、本町の財政も大変きびしい時代に入り、教育関係についても別格でいられないことが生ずると考えられます。

この点について町民皆様方のご理解をいただきながら皆様方のご要望にお応えすることが、私に課せられた任務であることを深く自覚し、一層精励する覚悟であります。

町民皆様の温かいご理解と、ご協力をお願い申し上げますと共に皆様方のご健勝を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

漁業の振興に貢献

勲五等双光旭日章を受章

富武士 船木 長 蔵氏



今度、勲五等双光旭日章を受けられた、船木長蔵氏の受章記念祝賀会が関係者多数の出席のもと、十二月五日町民センターにおいて盛大に開催されました。



船木氏は、長年に亘り漁業協同組合長、管内水産振興会長、北海道漁業協同組合連合会副会長をはじめ町議会議員など町内外において数多くの要職を歴任され、全道的視野に立ったその卓越した識見と実行力により本道漁業の振興をはじめ、本町漁業協同組合の設立養殖ホタテ漁業の企業化を図るなど、地域漁業の振興はもとより、本町自治の振興と地域社会の発展のため貢献されました。

今回、このような数々の功績が認められ受章されたものであり、衷心よりお祝を申し上げますとともに、これを機に益々の御健勝と御発展を祈念致します。

二十歳になったら

国民年金へ

今年、成人式を迎える皆さん、おめでとうございます。

まだ若いのに、もう年金の話？と言うまえに、少し読んでみてください。

たら？

このような予測のつかない時代のなかで、将来において「年金」がどれほど大切なものであるか、若い人の間にも認識がたかまっています。

「年金」を理解し、現実なものにするには、二十一世紀へのワシ・ステップです。

二十歳になったら、国民年金に加入して、老後のくらしをより豊

かなものにしみましょう。

国民年金



先ごろ発表された日本人の平均寿命は、男性七十三・三歳、女性七十八・八三歳で、六十五歳以上の高齢者は、人口全体の八・九%となっています。

この高齢者の人口に占める割合は急速に高くなり、二十一世紀には十四・三%をこえ、さらに上昇します。

上昇スピードはヨーロッパ諸国の二・五倍です。

高齢者の雇用問題や医療問題、そして経済問題はいま社会的に大きな問題となっています。

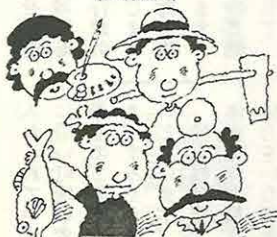
また、働き盛りに死亡したり、病氣、ケガで身障者になったりし

●国民年金に加入する人は——？ 必ず加入する人と希望で加入する人のケースがあります。

国民年金に加入する人

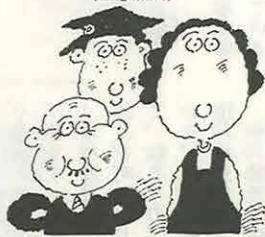
●日本国内に住む20歳から59歳の人●

必ず加入する人 (強制加入)



●農林漁業、商工業、医師、弁護士などの自営業や自由業の人で厚生年金や共済組合などの被用者年金に加入していない人

希望で加入する人 (任意加入)



●厚生年金や共済組合などの被用者年金の加入者の配偶者
●年金や恩給を受けることができる人とその配偶者
●都・区市町村議会の議員とその配偶者
●昼間部の大学生

5人以上の従業員がいる会社や工場に勤務する人

厚生年金保険

公務員、先生、農協職員などの人

各種の共済組合
(全部で5つ)

船員の人

船員保険

上記の被用者年金に加入していない20～59歳の人

国民年金

まちの話題

町内理・美容師組合

奉仕活動

去る十二月二十日、町内の理・美容師のみなさんが、特別養護老人ホーム「愛の園」に訪れ、入園者の散髪を行いました。

これは、佐呂間町理容師組合と美容師組合のみなさんによる奉仕活動で、同園開園以来毎年つづけられているものです。

当日は、朝早くから入園者全員の散髪が行なわれ、普段は床屋へ行くことのできない入園者も、さっぱりとした頭を見て大変喜んでいました。

また、このご厚意に対し心からお礼を申し上げます。



青年サークル



去る、十二月十三日、町民センターにおいて、第五回遠軽地区青年団体協議会冬期青年大会が、本町をはじめ生田原、丸瀬布、上湧別、湧別などの各青協から約三百人が参加し、盛大に行なわれました。

この大会は、地区の青年団が一堂に会し、意見発表や舞踊などが四部門に分かれて行なわれたもので、午前中は意見発表、午後からは演劇などが行なわれ、日頃の練習の成果を発揮し、熱演が繰り広げられました。

米の試食会

去る、十一月二十七日、町民センターで米の試食会が、町内で生産された新米のおいしさを再認識してもらい、又米の消費拡大などの目的で行なわれました。

会場には、一般消費者など約四十五名が集まり、米の試食審査、米の加工食品の試食、食生活と米の消費拡大調査などが行なわれました。

米の試食審査では、一般に出ま

北海道青少年育成推進員だより

去る十二月二十一日、本町の剣道スポーツ少年団に、同団の父兄より防具十組が贈られました。

同少年団は、剣道を通じて強い心と身体を育てようと、先生方の指導のもと熱心な練習を積んでいますが、年々団員が増加し防具が足りなくなり十分な練習ができなくなっていました。

このため父兄が話し合い子供たちのために少しでも団活動を援助しようと、皆さんでお金を出し合

って贈ったものです。
父兄の皆さんは、今後も子供達の健全な育成の手助けをするため父兄会を組織し、剣道少年団活動

わっている標準米と佐呂間産の新米を比べ、やはり佐呂間産の方が優れているという結果なども出されました。



に積極的な協力をしていく体制作りを進めております。



町政日誌

- | | | |
|-----|---------------|----------|
| 12月 | 11月30日 | 教育委員学校訪問 |
| 2日 | 議会広報特別委員会 | |
| 4日 | 消防団員退団送別会 | |
| 5日 | 第2回陶芸教室 | |
| 7日 | 運転免許証更新講習会 | |
| 8日 | サロマベツ川河川改修説明会 | |
| 9日 | 農業生産担当者会議 | |
| 10日 | 特設人権相談所開設 | |
| 11日 | 議会社会文教常任委員会 | |
| 12日 | 青年はたちの集い | |
| 13日 | 例月出納検査 | |
| 14日 | 第4回農業委員会 | |
| 16日 | 町総合振興計画審議会 | |
| 18日 | 遠軽地区青年団体協議会 | |
| 22日 | 冬期大会 | |
| 23日 | 第12回定例教育委員会 | |
| 24日 | 公営住宅入居者選考委員会 | |
| 25日 | 第4回定例町議会 | |
| 26日 | 民生委員協議会 | |
| 27日 | 町内季節保育所閉所式 | |
| 28日 | 青年はたちの集い | |
| 29日 | 牧野利用組合長会議 | |
| 30日 | 御用納め | |

お知らせ

町や関係機関からの
お知らせ、行事の案
内をのせています。

●運転免許証

更新時講習会

▽日時 二月五日(金)
午後六時から

▽場所 町民センター集会室

※受講される方は、免許証・筆記用具をご持参下さい。

(安全協会佐呂間支部)

消防出初式のお知らせ

佐呂間町消防団では、今年も次の日程で出初式を行います。

▽日程 一月六日(水)

午前十時集合
午前十時十分から
分別行進 (高橋土建前・駅前)

除排雪にご協力を!

今年も本格的な降雪期を迎え、

町では町道の除雪と市街地などの排雪を行うため、万全の体制を整えています。作業がスムーズに進むようご協力をお願いします。

一、道路上と道路の両側には物を置かないこと。

雪の下に物が放置していると、除雪作業で損傷するばかりでなく支障になります。

二、路上駐車

路上駐車は、作業に支障をきたすばかりでなく、事故につながります。

止むを得ない場合は、必ず赤旗などで標示して下さい。

三、私道除雪道の表示

私道の除雪道は、わかりづらくまた路巾が狭いので、作業に支障のないよう赤旗などを立てて

下さい。

四、排雪時について

排雪後に雪を出す例が多いので排雪時に同時に出すようにして下さい。

五、屋根の雪止め

屋根の雪が歩道に落下し、人命事故の発生にもつながりますので、屋根に雪止めを措置するようお願いいたします。

六、スキー・ソリ遊び

道路また、路側の雪の山で、児童がスキーなどの遊びをし、急に路上にとび出すと除雪車との事故となるのでやめて下さい。

※除雪についての連絡先

佐呂間除雪センター

(☎二二九一四)

●「国の進学ローン」

を「ご存じですか」

高校、大学、専修学校への進学に必要な資金は、国民公庫の「国の進学ローン」をご利用下さい。

▽融資額

一世帯あたり 五十万円以内

▽融資期間

進学する学校の修業年限以内

▽利率

年 八・三%

▽保証人 一名以上

(保証基金を利用される場合は、不要です。)

▽返済方法 毎月元利均等返済

(ご希望によりボーナス月増額返済を併用できます。)

▽取り扱い期間

昭和五十七年一月～四月

▽取り扱い場所

国民金融公庫北見支店、信用金庫、農協、漁協など。

(国民金融公庫北見支店)

●「わが家の家計簿」

体験談募集

貯蓄増強中央委員会では、今年も家計簿に関する体験談を募集しています。

家計簿をつけはじめた動機、記帳上の苦心や工夫など、あなたが家計簿を通じて体験し、感じられたことを自由に書いて下さい。

▽原稿

①本文は、四百字詰原稿用紙五枚(二十字)以内。

月別・項目別支出一覧表を添付して下さい。

②作品は、未発表のものに限ります。

③原稿には、応募者の氏名(ふりがな)、住所、職業、年齢、家族一覧、家計簿記帳年数、連絡

電話番号を必ず記載してください。

④応募原稿はお返ししません。

▽募集期間

十二月一日～二月二十八日

▽入選

特選 五編 賞金各五万円

秀作 十編 賞金各三万円

佳作 三十五編程度

賞金各一万円

著作権は主催者に帰属します。

▽入選発表 昭和五十七年六月

▽送付先

〒〇六〇

札幌市中央区北三西六

道生活環境部消費生活課内

北海道貯蓄推進委員会

(封筒の表に「家計簿体験談」と明記のこと)

(道貯蓄推進委員会)

水打鳴社

一月例題「福引」「かるた」
二月例題「節分」「着ぶくれ」
三月例題「日永」「春泥」

ぼくとわたしの作品

今月は、富士小学校のおともだちの作品を紹介します。



のびのびと元気よく書けました。
三年 安藤 由



ていねいで、しっかりと書けています。
六年 木村 千寿



「マラソン大会」
二年 木船 孝幸
秋のうつくしい山のようすが、くわしくえがけています。



「港」
六年 新田 明恵
海の色が美しく、遠近感がよくでています。

＜ご存じですか？＞



TSマーク

「TS」は「Traffic Safety」（交通安全）の頭文字です。

昭和五十三年十二月一日

から道路交通法が改正されたのに伴い、自転車や自動車用反射材などの安全基準が統一されました。



TSマーク

「TSマーク」は、お買い求めの際の製品判定の基準になるとともに、あなたを守る「安全マーク」です。

④ 高速道路で車が故障したとき
に使う停止表示器材の四種類です。
安全基準の内容は、たとえば
自転車の場合だと、車体の大き
さやブレーキの性能、また高速
道路で使う停止表示器は、二百
メートルの距離から確認できる
もの——など、それぞれ構造
や性能について定められていま
す。

この安全基準の審査に適合したものについては、国家公安委員会がその形式（モデル）を認定し、これに基づいて作られた個々の製品については、財団法人・日本交通管理技術協会がその可否を判定します。「TSマーク」は、いわばその合格証。
「TSマーク」の対象となるのは、

- ① 自転車
- ② 自転車用反射器材
- ③ レッカー用のけん引用具

これからの「ご存じですか？」は
二月 ガス器具検定 合格マーク
三月 電気用品 安全マーク
四月 繊維製品の 品質保障マーク
について掲載する予定です。

“サロマ湖を 皆んなで守ろう。”

赤潮などの発生要因

リンを含む家庭用合成洗剤の
使用を自粛しましょう

ボランティアは 心のかようことばから

呼びかけのことば…お元気ですか
感謝のことば…ありがとうございました

佐呂間町社会福祉協議会

道楽一家



「犬も歩けば棒にあたる。」
これは「物事をなさうとする者は、それだけ災難に会うことも多い」という意味とも、「やつてるうちには、思いがけない幸運に会うこともある」という意味だともいわれていきます。

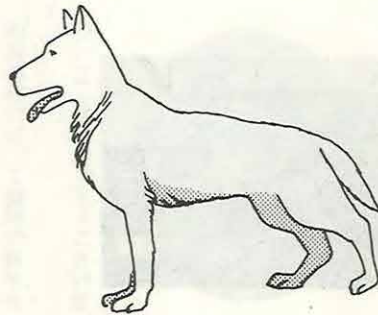
今年、戌(イヌ)年。どちらの解釈をとるにしても、慎重な心配りのもとに積極的な努力を惜しまず、開運間違いなしといきたいものです。

犬といえば、知恵・勇気・誠実の代名詞のような動物。「桃太郎」や「花咲爺(はなさかじい)」に登場するのも、そういう犬たちです。

昔から、犬は人間の大切な「協

いとしは……

戌年



警察犬などとして優れた能力を発揮しています。

しかし、今日では、犬の主な役

力者「だったわけですが。」
いまも狩猟犬、牧羊犬をはじめ新しいところでは盲導犬、救助犬

目は愛玩用。
「ペット元禄」と呼ばれるほどで、犬専用の目薬やビタミン剤、シャンプーまで店頭に並んでいます。

ところで、妊娠婦の帯祝い「戌の日」が選ばれるように、犬は安産・多産の象徴になっています。では、戌年生まれの人はいくつくらいいるかといえますと、意外に少なく全国でざっと八百七十四万人。日本の総人口を十二支別に分けてみますと、十一番目になります。ちなみに、最も多いのがサル年生まれの人で、約三千六万人。いっぽう少ないのがトリ年の約八百三十六万人です。

そんなわけで、十二支も一種の「生活美学」とみれば、なかなか趣深いもの。

犬の特徴にあやかっ、今年もすばらしい年にしたいものです。

ご寄付

ありがとうございます

役場人事	
(十二月二十一日付)	
産業課	農政係長兼務
主事 諸岡 照男	
主事 宮田 憲彦	
主事 伊藤 豊	
依願退職	

国鉄乗者券は
佐呂間駅で
買いましょう!

(湧網線の利用度を
高めるため御協力を)

●香典返しを廃して	●社会福祉協議会へ
(亡母はるえさん)	留田 源次さん
(亡夫正紀さん)	小野寺 茂さん
(亡母フサさん)	五十嵐マサコさん
富武士 耕作さん	
(亡妻ハナヨさん)	桃井 耕作さん
若里 船橋 文蔵さん	
(亡父仁太郎さん)	牧岡 勝征さん
東 勝征さん	
●身障者佐呂間分会へ	(亡父仁太郎さん)
東 勝征さん	
●仁倉老人クラブへ	(亡父秀雄さん)
東 勝征さん	
仁倉 惣田 源次さん	

●全快祝を廃して	●社会福祉協議会へ
富武士 井上 孝一さん	
●その他	
●特別養護老人ホームへ	永代町 一戸謙一郎さん
高橋 喜一さん	
大沢 繁一さん	
石山 寿夫さん	
沢入長太郎さん	
牧岡 勝征さん	
幸崎 賢次さん	
小野寺 茂さん	
吉田 初二さん	
尾沢 正子さん	
北見営業所	